

目指せ!なのはな米1等比率95%以上!! ~「R3 JAなのはな米品質向上運動」実施中~

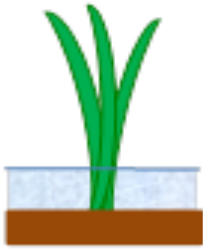
- 高品質な“なのはな米”の生産に向け、稲体を支える土台となる「根」をしっかりと育てることが大切です。
- 浅水管理や溝掘り・中干しなど生育に応じた水管理を適切に行いましょう。

中干しまでの水管理

中干しまでは水深3cm程度の浅水管理を行い、分げつの発生を促しましょう。

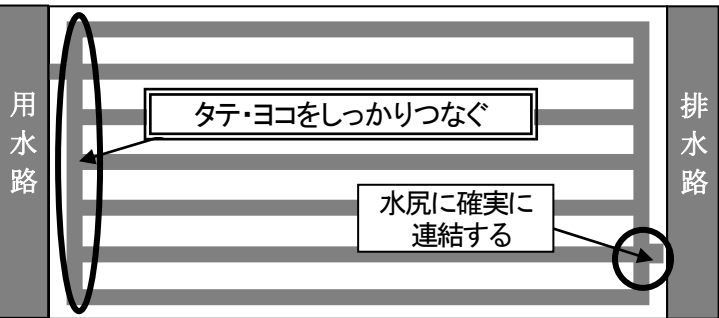
＜浅水管理のポイント＞

- ・入水は朝か夕方に行い、日中は止水で田水温の上昇に努めましょう。
- ・強風や低温時には5cm程度の深水にし、天気の後復後は速やかに浅水管理に戻しましょう。
- ・藻が発生している場合は、水の入れ換えを行いましょう。また、田がわいている場合は、1～2日程度の軽い田干しを行いましょう。



溝掘り

溝掘りは、ほ場を均一に干すだけでなく、生育ムラの解消や短時間の通水等にも有効な作業です。中干しやその後の間断かん水を効果的に行うため、6月上旬までに必ず溝掘りを行いましょう。



溝掘りをしないと、ほ場内の乾きにくい場所で排水が遅れて、適期収穫に支障をきたす恐れがあります。



溝掘りをしなかったほ場の収穫時の水たまり

＜溝掘りのポイント＞

- ・溝の形が崩れないよう、軽く田干しを行って泥を固めた後、10～15条に1本の割合で溝を掘る。
- ・タテ溝とヨコ溝をしっかりとつなぎ、水尻は確実に連結する。
- ・溝掘り作業後は、溝の崩れや連結、水の流れを確認する。

中干し

6月に入ると根の伸長が活発な時期になってきます。田植後4週間以内を目安に中干しを開始し、直下根をしっかりと伸ばすとともに無効分げつの発生を抑えましょう。

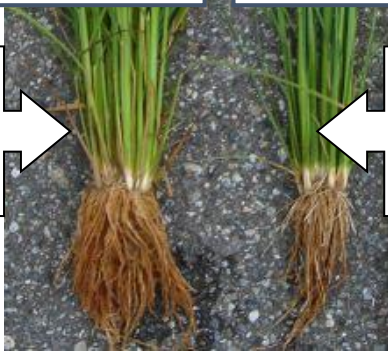
また、出穂後20日間の湛水管理に備え、コンバイン作業の地耐力確保のため、この時期に確実に田面を固めましょう。

◎中干しの目安

	普通乾田	水はけの悪いほ場、粘土質田・大豆跡田
中干しの開始時期	田植後4週間までに中干しを開始	
中干しの期間	3～5日間程度	5～7日間程度
中干しの仕上げ程度	長靴が沈まない程度 田面に小さな亀裂ができるまで 	強めの中干し 田面に大きな亀裂ができるまで

適正な中干し

中干し無し



- ・葉が直立
- ・茎が太い
- ・根量が多い

- ・下葉が枯れる
- ・茎が細い
- ・根量が少ない

◎5月15日田植えの作業の目安

6月5日頃 (田植後3週間頃)	6月12日頃 (軽い田干し開始後1週間頃)
浅水管理	溝掘り → 中干し開始

中干し終了時の目安

ほ場中央部で、くるぶしまで沈む程度



干し過ぎると、稲の生育にダメージを与えます。数回に分けて適度に田干しを行いましょう！

裏面へ続く

中干し後の水管理

- 中干し後から幼穂形成期頃までは湛水と落水を繰り返す間断かん水を行い、土中のうわ根をしっかりと伸ばしましょう。
- 生育量が多い場合は、過剰籾数や倒伏を防ぐため、強めに田干し（落水期間を長く）をしましょう。
- 幼穂形成期頃までに足跡の深さ 3 cm程度の硬さに誘導しましょう。

珪酸質資材の施用

稲の茎葉を丈夫にし、登熟を高めるため、珪酸質資材を施用しましょう。
特に肥効調節型基肥は加里成分が不足するので、この追肥で補給して下さい。

施肥体系（使用基肥肥料）		肥料名	10 a 当たり施用量	施用時期
分施	（なのはな有機基肥・基肥 5 5 5）	エスアイ加里らくだ	1 5 kg	6 月中旬～下旬
基肥一発体系	（Jコートコシヒカリなど）	エスアイ加里らくだ	1 5 kg	
		B B P K ケイ酸	2 0 ～ 4 0 kg	

後期除草剤の散布

- 雑草が残った場合は、雑草の葉齢を確認し、遅れずに散布しましょう。
- 湛水散布する除草剤は、除草効果を高めるため散布前に軽い田干しを行い、水を入れ替えてから散布しましょう。
- 除草剤散布の際には、周辺の作物に飛散しないよう注意しましょう。

◎除草剤使用基準（移植水稻の場合）

雑草の状況	除草剤名	10a当たり散布量	散布時期	使用回数	使用上の注意
ノビエが残った場合	クリンチャー 1キロ粒剤	1 kg	田植後7日～ノビエ4葉期まで （収穫30日前まで）	2 回以内	・散布の際は5cm程度に湛水する。 ・散布後5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水・かけ流しをしない。
		1. 5 kg	田植後25日～ノビエ5葉期まで （収穫30日前まで）		
	ヒエクリーン 豆つぶ250	250g	田植後15日～ノビエ4葉期まで （収穫45日前まで）	1 回	・散布の際は5cm以上の深水とし、水田周縁部に沿い散布する。 ・散布後、5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水・かけ流しをしない。
	トドメ MF 乳剤	200ml 希釈水量 100ℓ	田植後14日～ノビエ7葉期まで （収穫50日前まで）	2 回以内	・落水散布または湛水条件で散布する。 ・湛水条件で散布する場合は、水深3～5cm 程度を3～4日間保ち、散布後7日間は落水・かけ流しをしない。 ・展着剤は不要
広葉雑草が残った場合	バサグラン粒剤	3 ～ 4 kg	田植後15～50日 （収穫60日前まで）	1 回	・雑草が露出する程度の浅水とし、晴天日を選んで散布する。 ・散布後3～4日間は田に水を入れず、また降雨によって薬剤が流出しないよう水尻は必ず止めておく。 ・雑草の多い部分にスポット散布も可
ノビエと広葉雑草が残った場合	ワイドアタックD 1キロ粒剤	1 kg	田植後25日～ノビエ4. 5葉期まで （稲4葉期以降、収穫60日前まで）	1 回	・散布後5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させない。 ・完全に枯死するまでに3週間以上を要することがある。
	クリンチャーバス ME 液剤	1, 000ml 希釈水量 70～100ℓ	田植後15日～ノビエ5葉期まで （収穫50日前まで）	2 回以内	・晴天日を選び、落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するよう丁寧に散布する。 ・散布後3～4日は入水・落水をしない。 ・展着剤は加用しない。
	トドメバス MF 液剤	1, 000ml 希釈水量 100ℓ	移植後15日～ノビエ6葉期まで （収穫50日前まで）	2 回以内	・晴天の持続する時を選んで使用すること。 ・散布前に落水状態にして水の出入りを止め、均一に散布する。 ・散布後3～4日間は田に水を入れず、また降雨によって薬剤が流出しないよう水尻は必ず止めておく。

★農作業安全について【春の農作業安全運動：4月1日～5月31日】見直そう！農業機械作業の安全対策

- 畦畔除草や農薬散布の際は、ヘルメットや防護マスク等の作業に適した服装を心掛け、事故を未然に防ぎましょう。
- 農耕車等で道路を走行後、泥落ちした場合は、泥の撤去をお願いいたします。

★なのはな農協では、皆様に電子メールによる営農情報の提供を行っています★

< 情報提供内容 >

- ・栽培管理情報
- ・緊急的な気象情報や災害防止対策、栽培管理等の情報
- ・その他必要と思われる情報

★営農情報提供サービスへの登録はこちらから
（QRコードにスマホ等をかざして必要な情報を登録してください）

